3．キャッシュ・フロー計算書関係

⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	4,034,326千円
定期預金	△1,200,000千円
資金期末残高	2,834,326千円

⑵　重要な非資金取引

①　現物寄附による資産の取得	1,018,302千円
現物寄附による少額備品の取得	286,951千円
②　ファイナンス・リースによる資産の取得	886,740千円

4．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち国からの出向職員に係る額	7,790千円

5．減損損失関係

⑴　大岡山宿舎ＣＦ

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：職員宿舎

種類：建物及び建物附属設備

場所：東京都目黒区大岡山２－１

帳簿価額：480千円（建物０千円、建物附属設備480千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑵　藤が丘寮

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：職員宿舎

種類：建物及び建物附属設備

場所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘２―41―21

帳簿価額：15,296千円（建物10,963千円、建物附属設備4,333千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑶　生田宿舎２

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：職員宿舎

種類：建物及び建物附属設備

場所：神奈川県川崎市多摩区三田１－３－１

帳簿価額：28,996千円（建物21,508千円、建物附属設備7,487千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑷　生田宿舎３

①　減損の兆候が認められた固定資産の概要

用途：職員宿舎

種類：建物及び建物附属設備

場所：神奈川県川崎市多摩区三田１－３－１

帳簿価額：28,724千円（建物21,510千円、建物附属設備7,214千円）

②　減損の兆候の概要

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しているため。

③　減損の認識に至らない根拠

現に使用しており、今後においても使用が想定されているため。

⑸　北千束宿舎Ｗ

①　減損を認識した固定資産の概要

用途：職員宿舎

種類：建物及び建物附属設備

場所：東京都大田区北千束１―793―１

帳簿価額：3,663千円（建物2,697千円、建物附属設備966千円）

②　減損の認識に至った経緯

老朽化が激しく平成28年６月３日をもって廃止・取壊しの決定を行ったため。

③　減損額

損益計算書上に計上していない金額：3,663千円（建物2,697千円、建物附属設備966千円）

④　回収可能サービス価額

使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。

⑹　東１号倉庫

①　減損を認識した固定資産の概要

用途：倉庫

種類：建物及び建物附属設備

場所：東京都目黒区大岡山２－１

帳簿価額：1,494千円（建物814千円、建物附属設備679千円）

②　減損の認識に至った経緯

当該建物を調査した結果、建築確認済証の取得が確認出来ず、東京都より取り壊しを行うよう指導されたことから、平成28年12月２日をもって廃止・取壊しの決定を行ったため。

③　減損額

損益計算書上に計上していない金額：1,494千円（建物814千円、建物附属設備679千円）

④　回収可能サービス価額

使用価値相当額が０円であると判断し帳簿価額を０円まで減損した後、当事業年度中に除却処理を行っております。

⑺　南薬品庫３

①　減損を認識した固定資産の概要

用途：倉庫

種類：建物附属設備

場所：東京都目黒区大岡山２－１

帳簿価額：８千円（建物附属設備８千円）